

**日本貨物鉄道株式会社
第8回社債(一般担保付)(グリーンボンド)**

**レポーティング
(2026年5月末時点)**

日本貨物鉄道第8回社債（一般担保付）（グリーンボンド） プロジェクト概要及び資金充当にかかるレポーティング（2026年5月末時点）

適格事業の概要			資金充当状況
	貨物駅等改良工事	クリーン輸送	全額既充当：10億円 ※うちリファイナンス3億円
	新南陽駅（山口県）において、コンテナホーム拡張、代行トラック駐車場整備等により、折り返し列車・代行トラックの受入能力を拡大し、災害時のBCP対策を強化します。そのほか、全国の貨物駅・機関区等で改良工事を行います。		
	運行系システムの更新	クリーン輸送	全額既充当：4億円 ※うちリファイナンス2億円
	運転支援システム「PRANETS」の更新を行います。 現行機能に加え、列車遅延時、迂回運転時の運転支援機能、列車位置送信機能を追加し、安全性の向上を図ります。		
	仙台貨物ターミナル駅移転工事	クリーン輸送	既充当：20億円 未充当：1億円 ※うちリファイナンス4億円
	既存の老朽設備を更新するとともに、効率性の高いE&S方式*の駅として整備いたします。これにより入換作業が簡略化され、コスト・CO ₂ 排出を削減するとともに、大幅なリードタイム短縮が可能となります。		
	フレンチア天王寺	グリーンビルディング	全額既充当：13億円
	社宅跡地を開発し、賃貸マンションを新設します。 省エネ性能の向上、太陽光発電設備の設置により、各住戸ごとのBELS評価レベル5以上を取得しています。		
合計			既充当：48億円 未充当：1億円

*E&S方式（着発線荷役）：着発線上に荷役ホームがあり、列車が駅に到着した直後に荷役作業を開始し、そのまま発車できる方式です。

日本貨物鉄道第8回社債(一般担保付)(グリーンボンド) 環境改善効果にかかるレポーティング(2026年5月末時点)

適格事業の概要	インパクト
フレスシア天王寺 (グリーンビルディング)	・BELS評価レベル5以上を取得
貨物駅等改良工事 運行系システムの更新 仙台貨物ターミナル駅移転工事 (クリーン輸送)	・貨物輸送量1トンキロ当たりのCO2排出量 : 19g-CO2/トンkm(2024年度)

CO2排出量は営業用トラックの

約10分の1

貨物鉄道輸送のCO2 排出原単位は
営業用トラックの約10分の1
(2024年度)であり、環境にやさ
しい輸送機関として注目されている

貨物鉄道輸送の**CO2削減効果**は

3,333,000t-co2/年

貨物鉄道輸送が担う年間の輸送トンキロ
をすべて営業用トラックで運んだ場合と
比較して、3,333,000t-CO2/年(2023
年度実績)の削減効果がある

スギ林のCO2吸収効果に換算(※)すると

**東京都の約1.71倍の面積
(約375,000ha)**

※3,333,000t-CO2 の排出削減(CO2 固定吸収)を
植林活動を通じて行う場合の森林面積。
林野庁ホームページより、40 年生のスギが1haに
1000本立木していると仮定して計算

【ご参考】日本貨物鉄道第8回社債（一般担保付）（グリーンボンド）発行概要

社債名称	日本貨物鉄道株式会社 第8回社債（一般担保付） （グリーンボンド）
発行年限	20年
発行金額	50億円
利率	年 2.757%
払込日	2025年6月11日
債券格付	AA-（R&I）、AA（JCR）
主幹事証券会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券、 みずほ証券、野村證券、大和証券
資金使途	仙台貨物ターミナル駅移転工事、貨物駅等改良工事、 運行系システムの更新、フレンチ天王寺新設にかかる 設備資金及びリファイナンス資金
グリーンボンド としての適格性	グリーンボンド・フレームワークに対する第三者評価としてJCRより 「JCRグリーンボンド・フレームワーク評価」最上位評価である 「Green 1 (F)」の評価を取得